【授業科目】母性看護援助論Ⅰ（ライフステージ）Maternity Nursing Ⅰ

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
日比 千恵、野内 香純	2年次 後　期	必　修	1	15	講　義	あり	巻末掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／女性の一生を通じた成長・発達を踏まえ、各ライフステージに特有の健康問題とその看護について理解する。リプロダクティブ ヘルスケアにおける健康問題とその看護について理解する。以上の 2 点を学習目的として学習する。小グループでともに学び合う共同学習を中心に授業を進める。事前に課題を提示し、授業日までに教科書または文献等を参考に課題についてまとめる。事前課題はForms で回答する。授業日は、事前課題に基づいて意見交換を行う。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／課題について文献を用いてレポート作成し提出。提出した課題のコメントは授業で全体の総評を行う。 ＊実務経験を持つ教員が授業を進める
実務経験に関する授業内容	母性領域の臨床経験を持つ教員が、看護師として必要な女性の健康に関連する知識について、実務経験を交えながら指導していく科目である
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①母性各ライフステージのセクシュアリティの発達が説明できる。 ②母性の各ライフステ-ジの身体的・心理的特徴を述べられる。 ③母性の各ライフステ-ジ各期の健康問題と支援方法を述べることができる。 ④リプロダクティブ ヘルスケアにおける健康問題とその看護について述べることができる。
時間外学習に必要な内容・時間	【事前学習】第1～8回：母性看護学概論の教科書と資料を読み返しておく。教科書の関連領域・配布資料は事前に読み、提示された課題についてまとめる(30分) 【事後学習】第1～8回：各自の学びを復習することで確認する。(30分)　　第6回 課題レポート提出 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／1回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習1時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	母性各ライフステージと看護 第１回　思春期の健康課題と看護　　課題レポート提示 第２回　成熟期の健康課題と看護 第３回　更年期・老年期の健康課題と看護 リプロダクティブヘルス/ライツと看護 第４回　人工妊娠中絶と看護 第５回　性暴力と看護 第６回　性感染症と看護　　課題レポート提出 第７回　遺伝看護（倫理的課題を含む)、不妊症と看護 第８回　子ども虐待と看護　　課題レポートの発表および講評 第1～6回：日比 第7回:野内 第8回:日比
評価方法 評価基準	課題・授業への参加 20%（事前課題 10%、学習成果の発表 10%)、課題レポート 20%、期末試験 60%で総合的に評価する。
教科書	系統看護学講座 母性看護学1『母性看護学概論』 森恵美、他著　医学書院 系統看護学講座 母性看護学２『母性看護学各論』 森恵美、他著　医学書院 (2年次前学期「母性看護学概論」の教科書を使用)
参考書等	池田正他著：成人看護学9『女性生殖器』 医学書院 有森直子編著:母性看護学Ⅰ　概論第 2 版 女性･家族により添い健康を支えるウィメンズヘルスケアの追求　医歯薬出版株式会社
学生への助言等	女性の健康はその時代の社会や文化に影響を受けます。また人生のあるライフステージの健康状態が次のライフステージの健康へ、さらには次世代にも影響するものです。課題レポートは母性に関連するテーマの中から関心のあるテーマの文献を検索し、読み、自分の考えをまとめます。積極的にさまざまな文献にあたり、母性看護学について、自己の考えを深められることを期待します。